

2014年8月22日 食器はどれを・・・

この日は生活用品を買いに街に出ました。まず始めに ATM を見つけたのでお金を引き落とせるかの確認をしました。ちゃんと引き落とせました。街をぶらぶらしてどのようなお店があるのか見て回りました。ファッションのお店が多く、日用品を買えるようなお店は見当たりませんでした。

その後、家の近くに市場のようなマーケットがあることに気付き、そこへ行きました。ワインやチーズ、野菜、魚介類、肉と生活用品、お土産などが売っていました。さらに観光マップなどが置かれていました。

その日の夜は西本さんが実家から持ってきたうどんと佐賀さんが持参した味噌汁を食べることにしました。食器は部屋に用意されてあるのですが、日本のようにうどんを入れるようなどんぶりや、味噌汁を入れるようなお椀はありません。もちろんお箸也没有。結局うどんも味噌汁も大きめのマグカップに入れてフォークで食べました。食文化の違いを感じました。



今日は生活用品と食材を買いにビーチ近くのスーパーマーケットに行きました。まずバスケットを購入し、バスに乗ってビーチに向かいました。この日は曇りの天気でしたが、たくさんの方がビーチにいました。すこしだけビーチを歩きました。

そしてビーチ近くの店で、本場のパニーニを食べました。メニューを見て困っていると、その店にいたお客さんが話しかけてくれました。その人は英語が少し話せるみたいで、メニュー表の説明をしてくれました。私は馬肉とトマトとチーズが挟んであるパニーニを頼みました。とてもおいしかったです、ボリュームたっぷりでした。

その後スーパーマーケットに行き夜ご飯の食材を買いました。イタリアではマイバックを持参する人が多いですが、持っていない時は、袋をくださいといえどもらえます。日本のスーパーでは、買い物袋が必要ない場合は「レジ袋不要」の札を見せる仕組みになっています。マイバックを持っていて、袋をもらうのは困らないが、マイバックを持っていなくて袋をもらえないのは困ります。イタリアでは「袋がほしい」という自分の要求を伝える必要があります。日本のスーパーでの買い物ではほとんど会話がないうのにイタリアでは買い物で気軽にコミュニケーションをとることができます。

帰りに家の近くの市場に寄って、洗濯洗剤と野菜を購入しました。昨日も行ったので、店の人が顔を覚えてくれていました。そして「チャオ！」とあいさつ。ここでの買い物でも会話が生まれます。そこではサニーレタスのようなものと、ジャガイモ、ズッキーニ、パプリカを買ったの1.9ユーロ（約260円）日本じゃもっと高いのにと思いました。

その日の夜はあさりのパスタと野菜スープを食べました。どうやらこの留学期間中の料理担当は私のようなようです。でも日本にない食材を使って料理するのは楽しいです。



今日は買い物をしようと街に出たのですが、日曜日ということでほとんどの店が閉まっていたので、ランチ（サンドイッチとエスプレッソコーヒー）をすまして家に帰ることにしました。しかし帰る途中にある「エレファントタワー」が気になっていたのので登ってみることにしました。

初めてこのカステッロの街を見た時、城マニアの私は「この街はお城に似ている」と感じるものがありました。調べてみるとイタリア語でカステッロは城という意味があるそうです。このカステッロは都市要塞だったのです。そのことにエレファントタワーに登るとよくわかりました。塔に細長い穴が空いているのです。おそらくそこから弓矢などで攻撃することができるのでしょう。そしてエレファントタワーは物見やぐらとしての機能を果たし

ているのです。

そしてエレファントタワーからカリアリの街を見た時にもう一つこのエレファントタワーに似た建物を見つけました。その建物を目指すことにしました。マップをよく見るとほかにも歴史的な建物や名所があることに気が付きました。そのマップを片手にカリアリの歴史探検が始まりました。

大きな教会や、かつて議会として使われていた建物などを見学しました。観光客用のインフォメーションもあったのでそこで情報を収集しながら回りました。

そしてエレファントタワーから見えた建物に到着しました。造りはエレファントタワーとほぼ同じなのですが、塔から張り出して、下に穴が空いているのを見つけました。これはエレファントタワーでは見なかったものです。日本の城では城壁から張り出した穴から石垣を登ってくる敵に向かって石を投げる仕組みがあります。それに似たようなものだと推測しました。その建物の周りは広場になっていて、博物館もありました。博物館は石器時代の博物館で、イラストなどでその当時の生活の様子が説明されていました。日本の石器時代と変わらない生活をしていたのだなと感じました。

2014年8月25日 コミュニケーション

この日は買い物。ファッションのお店に行きました。というよりは買い物に付き合ったような感じです。この日初めて本場のパスタを食べました。カルボナーラを食べましたが、日本で食べるカルボナーラほどしつこくなく、食べやすかったです。しかしパスタの湯がき方が雑でした。それと一緒にローズティーを飲みました。香りがよくおいしかったです。

帰りに家の近くの市場に寄りました。もう行きつけになったので店の人も顔を覚えてくれて、いろいろ商品を勧めてくれます。お互い英語を母国語としていないので、時には擬音などを交えて会話しています。それでも通じるものです。やはりコミュニケーションをとることは素晴らしいと感じます。

2014年8月26日 一店舗三役



今日は食料の調達をしました。まずランチをカフェで取りました。小さいピザとパンを食べました。飲み物はカプチーノいかにもイタリアって感じです。

毎日オープンカフェで朝食と昼食を兼ねた食事をするのですが、多くのカフェでは時間帯によってメニューが異なります。

朝はカフェメニュー。コーヒーやソフトドリンク（もちろん酒も）とパン類。それがお昼になると、パスタやピザといった食事のメニューが加わり、夜になるとバーのようにお酒中心のメニューになります。一つのカフェで一日フル活動です。

昨日街を歩いてスーパーのような所を見つけたので今日行ってみました。調味料やお菓子チーズ、野菜も売ってありました。

その後街を歩いていると輸入専門店のようなところで、日本の製品を見ました。みりんや醤油、鰹節やわさび、日本の食器も売ってました。驚くべきはその値段。割り箸も売っていたのですが、その割り箸が38ユーロ（約5200円）。日本では108円で買えるのに……。その店には海外からの観光客の人がたくさんいました。

2014年8月27日 陽気なイタリア人ガイド

今日は朝行きつけの市場に行き、チーズ屋さんのおじさんに、カリアリのお勧めの場所を尋ねた。そのおじさんの友達のお気に入りの場所で、フラミンゴを見ることができる自然公園を教えてもらった。そこへの行き方は二種類。バスで行くか、セグウェイに乗っていくか。

バスの料金は安いですが、セグウェイは50ユーロもかかる。しかし、日本ではセグウェイに乗る機会がないので、少々高くてもセグウェイに乗ろう！ということで、3時からのセグウェイツアーの予約をした。

初めてのセグウェイ。意外と簡単でした。初めは少しふらふらするけど、5分も乗れば乗りこなすことができました。そしてフラミンゴが見ることができる自然公園に行きました。ガイドの人がすごく陽気な人で楽しかったです。ガイドも英語でやってくれ、ガイド中も陽気にふるまってくれて盛り上げてくれました。「カルボナーラチーム」(ガイドの人の命名)の旅は楽しかったです。セグウェイの料金は40ユーロにまけてくれました。イタリアは優しい人ばかりです。

2014年8月28日 おもてなし

今日は昨日フラミンゴを見に行くことを勧めてくれた市場の人のところへフラミンゴを見に行った感想を伝えに行きました。出会ってから一週間ずっと名前を知らなかったので聞いてみました。するとイタリアでは握手をしながらお互いの名前を交換するのだよ。と教えてくれました。shake handしながらお互いの名前をいいました。市場の人はアレクサンドロさん。日本ではあまり握手をする習慣がないので、shake hand はいいなと思いました。

その後カフェで食事をとりました。ウェイターの人が注文を聞きに来た時に、Are you from?と尋ねてきました。日本から来たということを伝えると、その人の兄弟は日本に行ったことがあり、少しだけ日本語を知っていると仰いました。「アリガトウ」「コンニチハ」

市場のアレクサンドロさんも、カフェのウェイターの人、母国語は英語ではないのに、私たち日本人を見て、気軽に話しかけてくれます。またアレクサンドロさんのようにカリアリのお勧めの場所を紹介してくれる人もいます。それは私たち日本人が珍しいからではなく、どんな人にも気軽に話しかけています。一生懸命「おもてなし」してくれます。

日本人は「おもてなし」などといいながら、外国人を見たら敬遠しがちになり、コミュニケーションをあまりとらないような気がします。イタリアに来て人の温かみを感じます。